

入所申込に関する注意・特記事項

①記入について

- ・ 『入所申込手続きについて』『入所指針』『入所ご案内』をご一読下さい。
- ・ 入所申込書の記入はご家族等がいらっしゃる場合は、原則、その方が行って下さい。但し、『身体状況』につきましては入院・入所先や利用されている事業所等の職員の方に記入して頂いても構いません。
- ・ 年齢は満年齢を記入して下さい。

②特別養護老人ホーム入所申込書（その1）について

- ・ 受付日は施設側で記入する欄となりますので未記入で構いません。
- ・ 申込者の連絡先は連絡がつきやすい連絡先を記入して下さい。尚、施設側で申込書を受け取らせて頂いてから入所が決定するまでの連絡方法は電話連絡のみとなりますので、面接の対象等となっても電話連絡が付かなかった場合には次の候補者を優先させていただきます。
- ・ 住所は住民登録上の住所を郵便番号から記入して下さい。
- ・ 保険者・被保険者番号・要介護度・介護認定期間は全て介護保険被保険者証の情報を記入して下さい。
- ・ 在宅サービスの利用状況を記入する際に、以前は利用していたが現在は利用しておらずその利用実績を証明するサービス利用表及びサービス利用表別表が既にお手元に無い方は未記入で構いません。但し、同項目内の『10 現在の入院・入所先の施設名』は該当されるようであれば記入して下さい。
- ・ 医療的処置の状況へは具体的な処置内容を記入して下さい。

→記入例：経管栄養（胃ろう）、インスリン注射、吸引、酸素療法、気管切開

- ・ 入所を希望する理由の理由記入欄へは具体的にその理由を記入して下さい。

③特別養護老人ホーム入所申込書（その2）について

- ・ 申込者又は主たる介護者の対象者

→主に介護を実施している方以外は、主となって申込手続き等を行う立場の方や最優先の緊急連絡先となっている方を原則指します。

- ・ 利用者本人以外の被介護者となる対象者

→申込の段階で要介護認定（要支援度もしくは要介護度）を受けている方もしくは介護保険の対象とはならないが障害区分には該当していて障害者手帳（精神含む）を所持している方のみを指します。

- ・ 育児・看病の『時々』の度合い

→週1日以上毎日未満を指します。

- ・ 健康状態の『2 不良』の度合い

→『介護困難』：心身の疾病等により介助、介入ができない等。

『多少可能』：心身の疾病等により介助、介入が常時はできない等。

『介護可能』：『介護困難』『多少可能』の頻度以外

- ・ 申込者の同居者や親族又は従たる介護者等の対象者

→主となって申込手続き等を行う立場の方や最優先の緊急連絡先となっている方の配偶者・実兄弟・義兄弟・利用者本人の兄弟等の幅広い方を指します。

- ・ 申込者の同居者や親族又は従たる介護者等の介護の可能性の頻度

→『介護困難』：福祉圏域外または隣接市町村以外に住んでいる。

週5日以上就労をしている。介護できる日数が週2日以下しかない。

『多少可能』：1週間の就労休日以外で介護できる日もあるが常時はできない。

『介護可能』：『介護困難』『多少可能』の頻度以外

- ・ 介護期間の対象

→A：「①介護認定を受けて②自宅で介護した」期間

B：利用者本人が独居や老老世帯でそのサポートをしていた期間

※疾病を発症してから期間や病院等に入院・入所している期間は含まれません。

- ・ 上記以外の親族等による介護の可能性の頻度

→『介護困難』：福祉圏域外または隣接市町村以外に住んでいる。

週5日以上就労をしている。介護できる日数が週2日以下しかない。

『多少可能』：1週間の就労休日以外で介護できる日もあるが常時はできない。

『介護可能』：『介護困難』『多少可能』の頻度以外

- ・ 説明確認欄

→『入所指針』『評価基準』をお読み頂き署名して下さい。

④添付書類の注意事項

- ・ 『介護保険被保険者証』のコピー添付は全ての方が対象となります。
- ・ 添付して頂く『介護保険被保険者証』のコピーは、申込日（記入日）が認定期間を過ぎていないことを必ず確認して下さい。認定期間を過ぎている場合や介護保険証の更新または区分変更中の場合は更新または区分変更申請後にお手元に届きます『介護保険資格者証』のコピーを『介護保険被保険者証』のコピーの代わりに添付して下さい。
- ・ 介護保険認定の新規申請中の場合は認定結果が出てから申込して下さい。

注1：入所申込書は、必要書類全てが揃って申込受付となります。

注2：切手が不足している場合は受け取りできません。